

# ひらやま 十四号

※ 今月は新聞掲載作品です。「ひらやま」は財光寺小ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

かんたろうだー!!

三年 佐藤 勉遙来

わたしは今日おばちゃんと、おじちゃんと、ばあちゃん、家ぞくで水清谷にいきました。そしてと中雨がふつてきただけで、家の中に入つてカレーと、メロン、かきを食べました。カレーのお米はおじちゃんが育てていてそこにしかない「まぼろしのお米」とよんでいます。少し外に出てようすをみるとかんたろう（みみず）がうじやうじやいました。それにしおをふると体からおしつこのようなものがでました。そしてあればだしました。そのかんたろうは大きいくしがきからドテン!!ドテン!!とおちてきます。雨にうたれてるのもわすれかんたろうをつかまえていたので次の日くしやみがいっぱいでした。



五年 芳賀 美春

わたしのひいばあちゃんは、心配性で笑顔がかわいいおばあちゃんです。そんなおばあちゃんのじゅもんに気付いたのは、4年生の夏ごろでした。それは、私がおばあちゃんの家に行つたときでした。おばあちゃんに「暑い」と言つたら、小さな声で「すーー、すーー」と言つたのが聞こえた後に、そよ風がふいてきたので、びっくりして「私もまねできるかな」と思つてやつてみるとあまりできなかつたけど、家に帰つてやつてみると少しだけそよ風がふきました。2週間くらいに、おばあちゃんの家に行つてじゅもんを言つてみると、少し強めの風がふいたので成功しました。このじゅもんのことをおばあちゃんに聞いてみると「風をよんでもずしくしているんだよ」と言われて、おばあちゃんは自然に好かれていました。今はコロナでおばあちゃんたちに会えないけど、これからも家族を大切にしています。

コーヒー飲んだ

五年 世見竜之介

ぼくは、初めてコーヒーを飲みました。とってもにがくてのこそうとしました。だけど、「ここでのこしたら一歩前進できないぞ!それでもいいのならのこせ」と自分の心でいいきかせました。半分ぐらいのむと、口の中がとてもひりひりしました。冬だったからすこしさむくてだいぶ飲めて良かつたけれど、夏だったらと思うだけでこわくなりました。初めてのコーヒーはけつきよく1時間くらいかかりました。2回目は1回目よりにがくなくてうれしかつたです。20分ぐらいでのみきました。

ときどきぼくのお父さんは「こここのコーヒーはおいしいな」といいます。なんでおいしいかぼくには分からぬし、こんなににがいものはあんまりないと思います。子どもにはちよつとはやいのみものなので、味が分かるようになつたら、いっぱいのみたいです。



五年 本宮 翔輝

ぼくは、下校中、ネコを見かけた。ネコは、「こつち見ないで。」と言うように、こつちを見てきた。後ろの方を見てみると、ネコの赤ちゃんが二ひきいた。

そのネコは、赤ちゃんを守つていた。ネコの、生命を受けつぐ様子を見て、ぼくは、心がとぎすまされたような気がしました。

